

財団法人
宇宙科学
振興会

創立10周年記念

創立10周年を 迎えて

関本忠弘

財団法人宇宙科学振興会理事長
日本電気株式会社相談役



財団法人宇宙科学振興会は、宇宙科学研究所が行なう事業への援助、及び宇宙科学（宇宙航空工学を含む）に関する研究の助成等を行い、もって宇宙科学の進展に寄与することを目的として平成2年6月19日に設立され、各方面のご支援によりお蔭さまで本年創立満10周年を迎えることが出来ました。

わが国の宇宙科学の研究は宇宙科学研究所のご努力により目覚ましい進歩を遂げてまいりました。ことにこの10年間、6機の科学衛星の打ち上げに成功し、これらを利用した研究の成果は国際的にも重要な地位を占め、欧米に亘して世界的な関心を高めているところでもあります。

宇宙科学は21世紀に人類が歩むべき大きな進路を開拓する不可欠な科学分野の一つであり、その研究は世界的に益々重要になってまいります。科学技術立国を標榜するわが国にとって、国を挙げて宇宙科学の進展をサポートすることはこの意味において極めて意義のあることと言えましょう。

宇宙科学の一層の発展を考えるとき、研究者の国際間の交流や、国際シンポジウム等を活発に行ない、専門家にはその研究成果を周知させる機会を更に充実させて行く必要があります。またこれに平行して、広く社会一般に宇宙科学に対する関心と理解を高めるための啓蒙活動を積極的に推進する必要があります。

本財団は、宇宙科学研究所、宇宙科学研究者、特に将来性のある若手研究者の活動への積極的な支援を推進し、全力を挙げて取り組んでまいりました。

昨今の社会情勢に伴う収入減の問題は当財団としても免れるものではありませんが、これらを乗り越えて、今後とも当財団の設立の趣旨にのっとり、より一層充実した事業を展開する決意でおります。

創立10周年を迎えるにあたり、改めてその事業の重要さを認識すると同時に、関係各方面的今後の一層のご支援、ご協力をお願いしてご挨拶と致します。

創立10周年をお祝いして

松尾弘毅
文部省宇宙科学研究所所長



創立10周年に寄せて

黒田隆二
財團法人宇宙科学振興会常務理事
国際宇宙大学名誉理事



財團法人宇宙科学振興会が創立10周年を迎えたことをお祝いするとともに、これまで宇宙科学研究所をはじめとする宇宙科学に関する研究者に対するご支援・ご協力に深く感謝申しあげます。

財團が設立された10年前は、本研究所も駒場地区から相模原市に本格的に移転したおりであり、ハレー彗星探索のためにM-3S IIロケットによって「さきかけ」、「すいせい」を我が国として初めて外宇宙に送り出すなど、米国・NASAと伍して最先端の宇宙科学研究を競う契機となった時期であり、その後、順調に「きんが」・「あすか」でのX線天文観測、

「ようこう」での太陽観測など国際的に評価の高い成果をあげ、将来の高度な科学ミッションに対応可能なM-Vロケットを開発し、平成9年2月に初号機により電波天文衛星「はるか」、引き続き平成10年7月に火星探査機「のぞみ」の打上げに成功し、21世紀を踏まえた新たな太陽系探査、天文観測に一歩づつ緒を歩みだしてきておる次第であります。

これらも決して本研究所並びに研究者のみによって達成されているわけではなく、関係角界の皆様のご尽力、ご支援の賜物であり、とりわけ、常日頃から研究者の研究交流や国際シンポジウム開催への厚いご支援、国際協力プロジェクトの遂行に関するご協力を頂いている財團なしには語れないところであります。

今回の打ち上げは、大変残念な結果になり、皆様のご期待に沿えなかった次第であり、徹底的に原因究明にあたる所存であります。今後、宇宙科学研究所を取り巻く情勢は厳しいことになるとは思いますが、宇宙科学研究所は21世紀における人類の夢・発展に不可欠な知見や关心を生み出すものと確信しておりますのでより一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

財團が創立10周年を迎えるにあたり、改めてこれまでのご支援・ご協力に厚く感謝申し上げますとともに、財團を支えてくださっている経済界をはじめとする関係者の皆様にも厚く御礼申し上げます。

財團法人宇宙科学振興会は設立以来、関係各方面のご支援によりお蔭さまで本年をもって創立満10周年を迎えることが出来ました。

この間わが国は、宇宙科学研究所を中心とした関係者の総力をあげた取り組みにより、ようこう、GEOTAIL、あすか、SFU、はるか、のぞみの6機の科学衛星打ち上げに成功し、欧米に亘して宇宙科学の先端の研究に取り組み、海外からも大きな評価を受ける迄に発展してまいりましたことは、まことにご同慶の至りであります。

当財團は微力ではありますが、これらの宇宙科学研究に直接役立つ支援を実施したほか特に若手の研究者を対象に、研究助成、海外で開催される国際研究集会への参加支援を行なうとともに、研究集会の開催の支援、普及啓蒙活動開催の支援等を積極的にすすめてまいりました。

しかしながら、昨今の社会情勢ならびに低金利時代を迎える財團の運営については特に資金的な面において、いろいろな工夫が要請されるようになってまいりました。

そのため、事業の質の基本的な見直し作業を進めているほか、予算構造についても積極的に改革を検討しているところであります。

具体的には、支援活動のより効果的な重点項目へのシフト、財團の広報活動を従来以上に積極的に展開するための宇宙科学関連の行事への後援活動、贊助活動の充実、そしてそれらをより一層効率的に展開するための賛助会員制度の拡充等であります。

これらを実施して、当財團の将来的活動をより安定かつ効率的なものにするには、関係各方面の従来にも増したご協力、ご鞭撻が必要でございます。

創立10周年を機会に、当財團の運営の展望についてご報告申し上げると同時に、一層のご理解をお願いしてご挨拶といたします。

宇宙科学振興会の概要

1. 名 称 財団法人 宇宙科学振興会
2. 所 管 文部省
(民法第34条の規定に基づく文部大臣認可法人)
3. 目 的 この法人は、宇宙科学研究所が行う事業への援助及び宇宙科学（宇宙航空工学を含む）研究に従事する研究者への援助を行い、もって我が国における宇宙科学研究の進展の増進に寄与することを目的とする。
4. 事 業
 - (1) 宇宙科学の研究に従事する者の優れた独創的・先駆的な研究への援助
 - (2) 宇宙科学の研究に従事する者の海外への派遣の助成
 - (3) 宇宙科学の研究に従事する者の国際シンポジウム等の開催又は開催の支援
 - (4) 宇宙科学に関する研究成果の普及、啓蒙事業
 - (5) その他、この法人の目的達成に必要な事業

沿革

航空研究所奨学会 昭20年4月19日 設立許可
昭21年1月29日 理工学奨学会に名称変更
昭34年10月20日 航空学奨学会に名称変更
平2年6月19日 宇宙科学振興会創立
(航空学奨学会改組)

宇宙科学研究所への支援事業

(平成2年度～平成11年度)

総額 約8,393万円

・宇宙科学研究所の研究者等が、海外で開催される研究集会等に参加する費用

・宇宙科学研究所がNASAとの共同研究において必要とされる賠償責任保険に当財団が契約者として加入、支援

・宇宙科学研究所の一般公開・宇宙学校・講演と映画の会等の支援

支援助成事業

主な事業活動

年月	活動内容
平成2年11月	「第10回宇宙科学関係機関連絡協議会(IACG総会)」
3年10月	「第11回　」
4年12月	「ワールド・スペース・コンгрес」展示会
"	「アジア太平洋国際宇宙年会議」
5年11月	鹿児島宇宙空間観測所開設30周年記念式典
6年4月	「国際天文学アカデミー」
8年3月	「X線天文学国際シンポジウム」
" 4月	「国際天文学アカデミー」
" 8月	国際宇宙大学 (ISU) への研究者派遣
" 10月	「国際月探査ワークショップ」
"	国際会議「Diffuse Infrared Radiation and the IRT」
9年12月	宇宙科学将来計画検討会
" 1月	「国際天文学アカデミー」
10年6月	「第32回宇宙空間科学COSPAR総会」
11年5月	国際会議「ダストプラズマの物理」
" 10月	国際会議「太陽及び宇宙空間プラズマの爆発現象」

研究助成事業

(平成 3 年度～平成 8 年度)

研究助成金贈呈者一覧

平成 3 年度（第 1 回）東京大学理学部助手 比屋根肇氏 300 万円
「衝突ガスに関する実験的研究」

平成 4 年度（第 2 回）京都大学工学部助手 金村聖志氏 300 万円
「リチウム二次電池正極材料としての層構造電荷移動錯体へのリチウム挿入反応に関する研究」

平成 5 年度（第 3 回）東北大学工学部助教授 山下善之氏 300 万円
「宇宙環境における固気反応装置に関する研究」

平成 6 年度（第 4 回）神戸大学理学部助教授 三澤啓司氏 150 万円
「惑星の初期分化のタイムスケールに関する研究」

東京工業大学理学部助教授 坂本尚義氏 150 万円
「星間物質の分布と同位体研究に基づく太陽系起源論」

平成 7 年度（第 5 回）京都大学工学部助手 大谷文章氏 300 万円
「宇宙空間における短波長紫外光エネルギーの高効率化学変換系の構築」

平成 8 年度（第 6 回）東京大学大学院理学系研究科助手
三河内岳氏 300 万円
「物質科学的手法による火星隕石の形成史の研究」

研究助成事業

国際研究集会（海外）参加費用補助（平成9年度以降）

平成9年度

所 属	氏 名	名 称
宇宙科学研究所助手（宇宙推進研究系）	佐藤 哲也	第48回国際宇宙航行連盟会議
宇宙科学研究所助手（システム研究系）	澤井秀次郎	第48回国際宇宙航行連盟会議
山形大学理学部修士2年	齋藤 新	米国電気電子学会原子核科学シンポジウム（宇宙観測用検出器）
東京大学大学院理学系研究科博士1年	松本 千穂	米国電気電子学会核科学シンポジウムと医療画像会議
九州工業大学講師工学部	趙 孟佑	第36回航空宇宙科学会議
名古屋工業大学講師機械工学科	施 紅輝	1998年度超高速衝突シンポジウム
大阪大学助手大学院基礎工学研究科	下村 卓	第36回 米国電気電子学会・決定と制御のための国際会議
宇宙科学研究所助手（宇宙圏研究系）	川田 光伸	SPIE 1998シンポジウム「天体望遠鏡と観測装置」
総合研究大学院大学数物科学研究科博士3年	下条 圭美	国際会議「太陽ジェットとコロナブリューム」
平成10年度		合計9件
東京工業大学理学部助手	田中 秀和	第23回欧洲地球物理合同学会
宇宙科学研究所助手（システム研究系）	山川 宏	低コスト惑星探査計画に関する国際会議
東北大学大学院工学研究科 博士3年	能見 公博	1998年ロボティクスおよびオートメイションに関する国際会議
北海道大学大学院工学研究科博士3年	菊池 政雄	第27回国際燃焼シンポジウム
北海道大学電子科学研究所 助手	芥川 智行	合成金属の科学・技術に関する国際会議
北海道工業大学応用電子工学科 講師	佐鳥 新	国際宇宙推進会議
東京大学大学院理学系研究科博士3年	小野瀬直美	第5回完全破壊現象に関する研究会
東京大学大学院工学系研究科博士2年	福田 盛介	アメリカ電気・電子学会1998年国際地球科学リモートセンシングシンポジウム
宇宙科学研究所助手（宇宙圏研究系）	石田 学	強磁場激変星アナボリス研究会
学習院大学大学院自然科学研究科博士2年	柴田 亮	国際光学機器協会1998年度年会
立教大学理論物理学研究室研究生	成田 誠	第19回テキサスシンポジウム「相対論的宇宙物理学」
国立天文台電波天文学研究系COE研究員	廣谷 幸一	第19回テキサスシンポジウム「相対論的宇宙物理学」
	岩永 則城	宇宙技術と応用：国際フォーラム（STAIF-99）
東京大学工学系研究科 助手航空宇宙工学科	李 昌禧	第40回構造・構造動力学・材料学会
東京工業大学大学院理工学研究科博士2年	吉田 敬	第30回月惑星科学会議
名古屋大学大学院理学研究科博士1年	谷水 雅治	同 上
平成11年度		合計16件
名古屋大学大学院理学研究科 博士3年	浅井 佳子	あけぼのワークショップ
東北大学金属材料研究所博士3年	曾 忠	SPIE国際シンポジウム、微小重力下での材料研究会議
大阪大学大学院理学研究科 修士2年	片山 晴善	SPIE年会
名古屋大学工学研究科 助手	白石 裕之	第22回国際衝撃波シンポジウム
東北大学大学院理学研究科 博士2年	三好 由純	第22回国際測地学及び地球物理学連合総会
東京工業大学大学院理工学研究科博士2年	長沢真樹子	同 上
宇宙科学研究所助手（宇宙輸送研究系）	北薗 幸一	MRS 1999年秋季大会
総合研究大学院大学数物科学研究科博士2年	秋山 幸子	太陽放出物国際会議
合計8件		

理事・監事

任期 平成10年6月19日～12年6月18日

理事長

関本 恵弘 日本電気株式会社 取締役相談役

理事

岡崎 洋 神奈川県知事
小川 勇夫 相模原市長
塙 義一 日産自動車株式会社 取締役社長
相川賢太郎 三菱重工業株式会社 取締役会長
西室 泰三 株式会社東芝 取締役社長
北岡 隆 三菱電機株式会社 取締役常任相談役
武井 俊文 石川島播磨重工業株式会社 代表取締役社長
秋草 直之 富士通株式会社 代表取締役社長
大庭 浩 川崎重工業株式会社 取締役会長
庄山 悅彦 株式会社日立製作所 取締役社長
那須 肇 東京電力株式会社 取締役会長
山本 兵藏 大成建設株式会社 代表取締役会長
端田 泰三 株式会社富士銀行 顧問
田中 敬 株式会社横浜銀行 相談役
江本 寛治 川崎製鉄株式会社 取締役社長
森 亘 東京大学名誉教授
宮地 貫一 (財)衛星通信教育振興協会理事長
河村 龍馬 東京大学名誉教授
野村 民也 宇宙科学研究所名誉教授
小田 稔 東京情報大学学長
西村 純 宇宙科学研究所名誉教授
秋葉鎧二郎 宇宙開発委員会委員
西田 篤弘 日本学術振興会監事

常務理事

黒田 隆二 國際宇宙大学名誉理事

監事

長澤 和彦 株式会社横浜銀行 常務取締役
野村 隆 公認会計士

(平成12年2月1日現在)

評議員

任期 平成11年4月1日～13年3月31日

安達 三郎 東北工業大学教授
阿部 孟 三菱プレシジョン株式会社 取締役相談役
飯吉 厚夫 中部大学長
上田 伊久 明星電気株式会社 取締役社長
後川 昭雄 宇宙科学研究所名誉教授
内田 勇夫 宇宙開発事業団理事長
内田 豊 東京理科大学教授
岡本甲子男 日本油脂株式会社 取締役相談役
奥田 治之 宇宙科学研究所名誉教授
小澤 三敏 住友重機械工業株式会社 取締役会長
辛島 桂一 西日本工業大学教授
川田 隆資 松下通信工業株式会社 代表取締役社長
岸 輝雄 工業技術院産業技術融合領域研究所長
木村 磐根 大阪工業大学教授
小平 桂一 国立天文台長
小林 繁夫 東京大学名誉教授
佐々木幹夫 三菱商事株式会社 代表取締役社長
末松 安晴 高知工科大学長
高柳 和夫 宇宙科学研究所名誉教授
鶴田浩一郎 宇宙科学研究所企画調整主幹
野村 哲也 清水建設株式会社 取締役社長
蓮實 重彦 東京大学総長
林 友直 千葉工業大学教授
平尾 邦雄 宇宙科学研究所名誉教授
平澤 威男 国立極地研究所所長
廣澤 春任 宇宙科学研究所教授
堀内 良 宇宙科学研究所名誉教授
横野 文命 宇宙開発事業団招聘研究員
松尾 弘毅 宇宙科学研究所所長
三浦 公亮 宇宙科学研究所名誉教授
森 富久 日本飛行機株式会社 取締役社長

(平成12年2月1日現在：五十音順)

研究助成審査会委員

任期：平成11年10月1日～平成13年9月30日

委員長 清水 幹夫 宇宙科学研究所名誉教授

委 員 井上 一 宇宙科学研究所教授

中谷 一郎 同

長友 信人 同

水谷 仁 同

八坂 哲雄 九州大学工学部教授

山下 廣順 名古屋大学理学部教授

<委員=50音順>

運営委員会委員

任期：平成10年5月28日～平成12年5月27日

委員長 黒田 隆二 常務理事

委 員 折井 武 日本電気株式会社

川島 隆 日産自動車株式会社

北原 勇 宇宙科学研究所

西村 純 宇宙科学研究所名誉教授 財團理事

廣澤 春任 宇宙科学研究所教授 財團評議員

<委員=50音順>

実行委員会委員

委員長 阿野 良彬 石川島播磨重工業株式会社

委 員 遠藤 孝夫 日産自動車株式会社

香下 寿雄 三菱重工業株式会社

木下 伸也 日本電気株式会社

白敷 利和 富士通株式会社

中小路 修 川崎重工業株式会社

原田 耕造 株式会社三菱電機株式会社

三谷 哲司 株式会社日立製作所

森 信太郎 株式会社東芝

<委員=50音順>

賛助会員

平成12年3月1日現在 (50音順)

川崎重工業 株式会社	住友重機械工業 株式会社	株式会社 錢高組
大成建設 株式会社	東京電力 株式会社	株式会社 東芝
日油技研工業 株式会社	日産自動車 株式会社	日本航空電子工業 株式会社
日本電気 株式会社	日本飛行機 株式会社	日本油脂 株式会社
株式会社 日立製作所	富士通 株式会社	松下通信工業 株式会社
三鷹光器 株式会社	三菱商事 株式会社	三菱重工業 株式会社
三菱電機 株式会社	三菱プレシジョン 株式会社	明星電気 株式会社
株式会社 ユアサコーポレーション	石川島播磨重工業 株式会社	計 23法人

役付職員就任期間一覧

	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
理事長 (理事会議長) 関本忠弘		第一期 (2.6.19 - 4.6.18)		第二期 (4.6.19 - 6.6.18)		第三期 (6.6.19 - 8.6.18)		第四期 (8.6.19 - 10.6.18)		第五期 (10.6.19 - 12.6.18)	

	平成 3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
評議員会議長 林 友直		第一期 (3.6.19 - 5.6.18)		第二期 (5.6.19 - 7.6.18)		第三期 (7.6.19 - 9.6.18)		第四期 (9.6.19 - 11.6.18)		第五期 (11.6.19~)

	平成 11									
常務理事 黒田隆二	黒田隆二 (11.6.19~)									

	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
常務理事代行		余米賢三 (2.6.19 - 4.3.31)		山木俊助 (4.4.1 - 6.3.31)		木下舜春 (6.4.1 - 8.6.30)		松本保之 (8.7.1 - 10.6.30)		北原勇 (10.7.1 - 11.3.31)	

	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
事務局長		余米賢三 (2.6.19 - 4.3.31)			上原昇 (4.8.1 - 8.12.31)			田岡良一 (9.4.1~)		

↑
山木俊助
(4.4.1 - 4.7.31)

財団法人 宇宙科学振興会

神奈川県相模原市由野台3-1-1 文部省宇宙科学研究所内 TEL.042-751-1126 FAX.042-751-2165